

# 竹矢地区第6次地域福祉活動計画

## 「支えあいましょう！これからの竹矢」

### 1. 竹矢地区第6次地域福祉活動計画の位置づけ

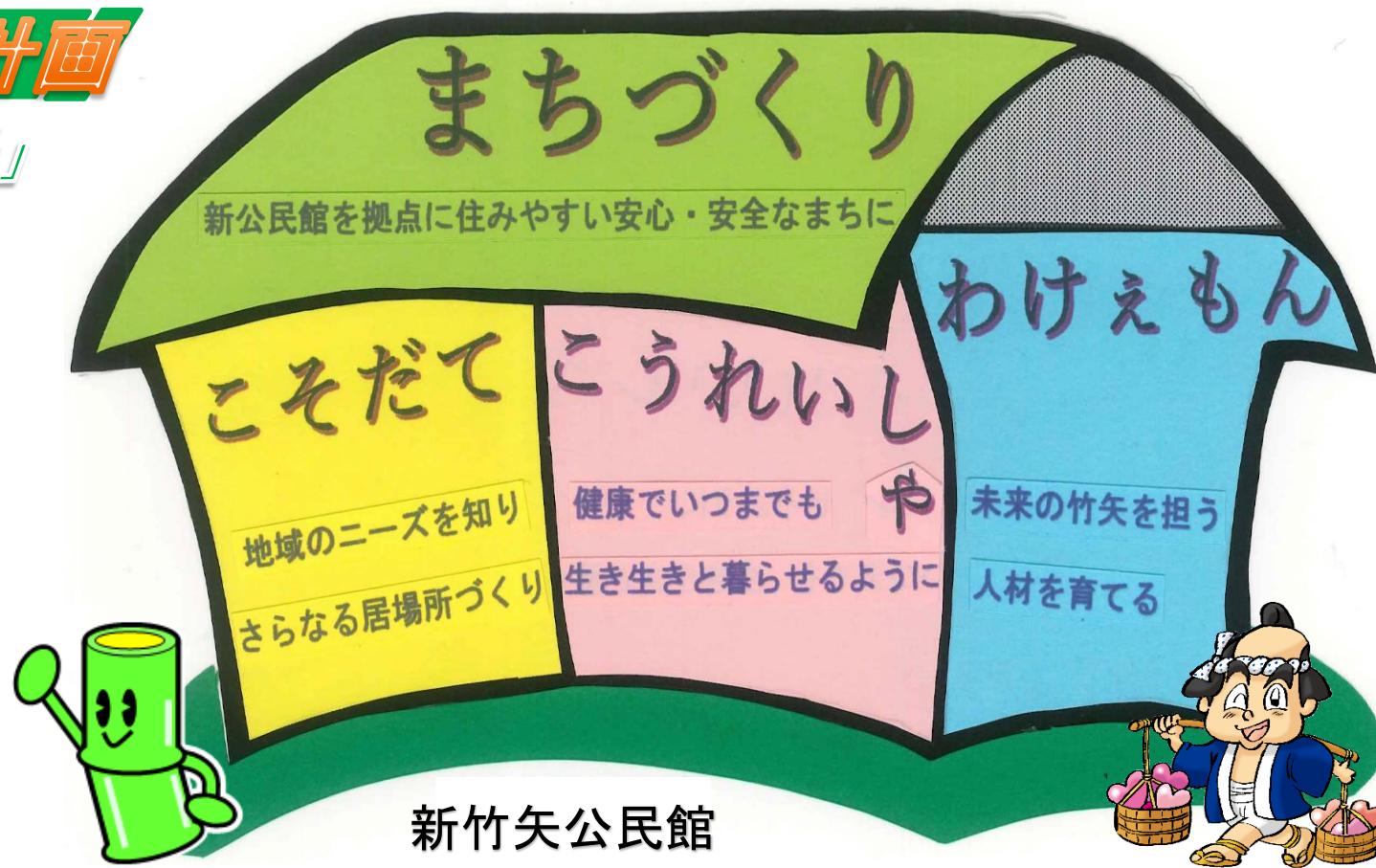
竹矢地区社会福祉協議会では、年度ごとに事業計画を作成しています。今回、策定した第6次地域福祉活動計画は令和6年度～10年度(5カ年)の竹矢地区社会福祉協議会の向かうべき方針を示したものです。

この基本方針をもとに、今後5年間活動を進めていきます。そして、事業計画のなかで詳細な取り組みを決定し、事業の進捗を確認していきます。

### 2. 今後の流れ

この基本方針をもとに、今後5年間竹矢地区社会福祉協議会は活動を続けていきます。

スタッフ会を中心に方針の見直しと進捗の確認作業を行い、次年度の地区社会福祉協議会の事業計画へとつなげていきます。



新竹矢公民館

	テーマ(部会)	地域の課題	目的	活動内容	具体的取組み
重点項目	<b>まちづくり</b> 安心・安全・ふれあいづくり	・住みやすく安心して安全に暮らすためのまちづくり ・楽しくふれあえる場所のあるまちづくり	・災害時の対応をはかる ・公民館を中心としたふれあいづくりの実践	・町内・自治会単位での住民台帳の整備 ・自主防災組織の充実 ・公民館に集える拠点づくりと活動の充実・強化 ・地域内ニーズの把握とその対応	・研修会の開催 ・先進地視察の実施 ・各種座談会等による実態調査の実施 ・要配慮者支援組織の充実 ・施設の有効活用
	<b>こそだて</b> ほっと♡安心できる居場所づくり	・出かけやすい場所での居場所づくり ・地域でさらなる居場所づくり	・地域のニーズを知り、集う機会を作る	・現在実施している活動への支援・協力 ・ちくやごめた食堂の活性化	・PTAからのボランティア協力 ・地域交流 ・地区内の集会所等でのごめた食堂開催 ・乳幼児学級、子育てサロンの支援と協力
	<b>わけえもん</b> 次の世代へのバトンリレー	・顔がつながる関係が必要 ・各種団体への役員参加が大切 ・中学生・高校生の地域活動への参加人数が少ない	・未来の竹矢を担う人材を育成する ・若い人同士のつながりを作る場の確保	・若い者会交流会・研修会の実施協力 ・各町内会の若い者会の参加の促進	・若い者会、PTA、町内会の若者の交流会・研修会を実施し、竹矢の地域課題を語り合う ・子どものころからの地域活動への参加促進(キャンプやスポ少等) ・ふるさと学習の推進 ・中学生と大人との交流会開催の支援
	<b>こうれいし</b> みんなでてをつなぐ 支えあいの輪	・なごやか寄り合い会の数減少 ・けんしん受診率の低下 ・高齢者のひとり暮らしの増加	・身近な居場所づくり ・いつまでも健康で長生きしたい ・認知症の理解を深める ・一心助け隊の活動の活性化	・高齢者と子どもたちが一緒に集う ・地区内巡回がん検診受診者数を増やす ・研修会の開催 ・隊員の確保(若い人) ・活動のPR	・ごめた食堂とよらい喫茶を公民館と地区内の集会所等で開催する ・出前講座の開催 ・認知症サポーター養成講座の開催 ・各種団体の会合等で依頼 ・ちらしの作成(全戸配布)